

～にぎって、こねて、たのしいな～

絵本をめくったり小さく細かいものを捨ったりなど、手先を使うことが上手になってきた子どもたち。もっと手先を使って遊ぶことを楽しんでほしいと思い、小麦粉粘土を用意してみました。どんな遊び方をするのかな、小麦粉粘土を見てどんな反応をするのかな、わくわく♪

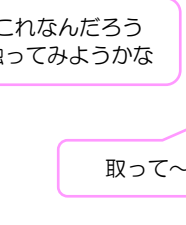
8月7日
初めての小麦粉粘土

さらさらして
気持ちいいな

これなんだろう
触ってみようかな

取って～

なんか嫌だよ～



目の前で小麦粉粘土作りを見せてあげることで、興味や関心を持ち、「これは何だろう？ちょっと触ってみようかな」「先生が触っているから触ってみよう！」という気持ちになってほしくて、あえて子どもたちの前で粘土作りをしました。「触ってみよう」「これはなんだ？」と積極的に触る子、興味はあるけれど「触るのはちょっと怖いな…」と触るのをためらっている子、触ってみたけれど「なんか嫌だよ～」と泣いてしまう子など、様々な反応が見られました。

9月3日
1か月ぶりの小麦粉粘土

久しぶりで小麦粉粘土のこと忘れていたのかな、前回と違う子どもたちの姿が見られるかな、と思いながら、小麦粉粘土で遊んでみました。

にぎにぎ

先生見て！

先生と一緒に♪

こねこね楽しいな



前回よりも興味をもった子が多く、手に乗せたり指先でこねてみたりしていました。小麦粉粘土の感触を楽しみながら、手先を使って遊ぶことに夢中になっていました。粘土の感触が苦手な子は保育教諭と一緒に触ると、安心したのか、自ら握って感触を楽しんでいました。

おもしろい遊び
みつけた！

保育教諭が細長く伸ばした粘土をゲームボックスの穴に入れようとするYちゃん。一度では入らず、何度も挑戦し、スムーズに入るとにこっと笑い、「あ！あ！」と指をさし、保育教諭に「入ったよ、嬉しい」とアピールしているようでした。それを見て他のお友達も「おもしろそう」「やってみよう」と思ったのか真似をし、その遊びはしばらく続いていました。やってみたら穴に粘土が入ることがおもしろくて、この遊びを続けていたのだと思います。小さな穴に粘土を入れられることも手先が上手に使えるようになった証ですね。遊びを真似しようと、自分の手に持っている粘土を入れてみる子もいました。しかし細くなっていなかったため、うまく入りません…。どうするのか見守っていると、落ちていた細くなった粘土を捨ったり、保育教諭のもとへ粘土を持ってきて細くしてもらったりして、穴に入れていました。子どもたちなりにいろいろと試していることに驚きました。

HAPPY BIRTHDAY



2歳になりました☆

